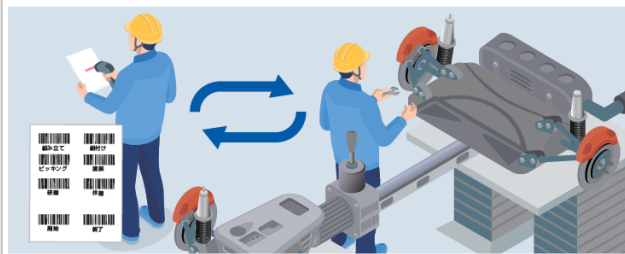


事例名：屋内位置測位を活用した工数自動収集

ユーザ名：自動車製造業

システム概要

従来の運用 … 作業開始・終了ごとに専用のバーコードをスキャン

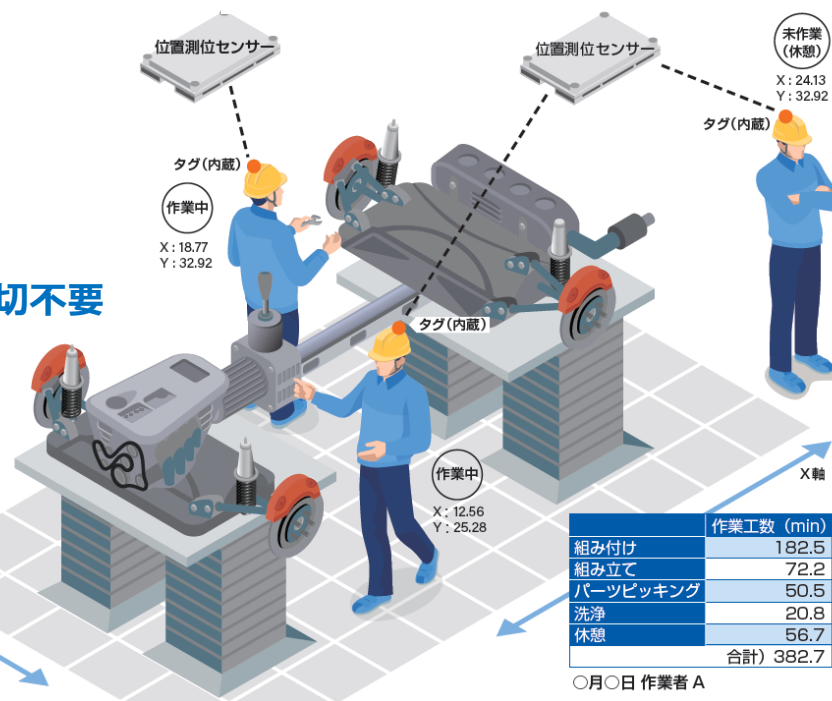


【課題】

- ・作業ごとに入力が必要
- ・作業者によって入力のムラがある
- ・入力漏れ、入力ミスの発生

データの信頼性が低いため手間をかけて取得した作業データが結果的に活用できない

入力作業は一切不要



事例に関するURL:

https://www.sato.co.jp/market/automotive/smart_factory/restricted01.html

お問い合わせ先:

株式会社サトー グローバル営業本部 ソリューション統括部

TEL: 03-6636-9379 URL: <https://www.sato.co.jp/>

導入の背景・課題

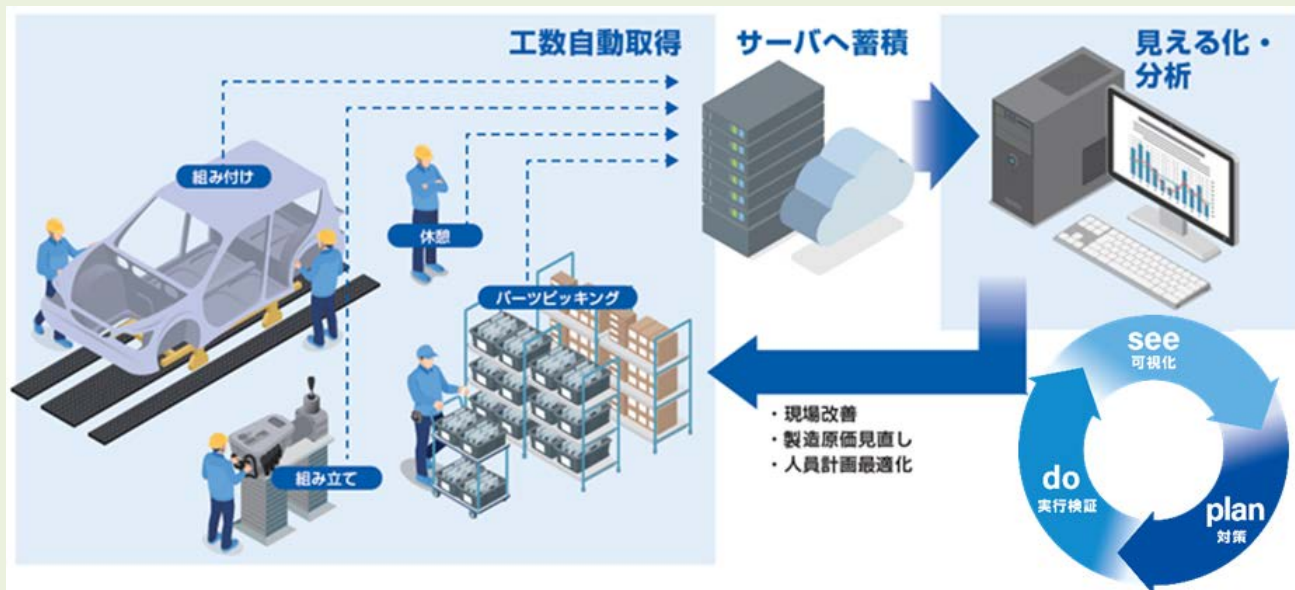
- ・作業者任せの工数管理で、正確な製造原価を把握できていなかった
- ・工数管理の為にスキャンに手間と時間がかかっており、作業時間にロスが発生していた
- ・人材の適正配置や自動化、アウトソーシング対応などが後手になっていた
⇒手間をかけて取得しているデータが結果的に活用できていない状態であった

課題の解決・導入効果

人やモノの位置情報が正確にわかる、リアルタイム位置測位ソリューションを導入した事によって

- ・工数の見える化で「正確なコスト管理」が可能に
- ・工数管理にかかる時間ゼロで「作業者が生産に集中できる環境」に
- ・人の適正配置で「効率的に生産できる体制」に

システム構成



構成機器／情報媒体

◆情報インフラ

- Quuppaシステム
- ロケータ LD-7L ×44台
- Quuppaタグ×120個

◆システム

- 工数自動取得システム×1式